

春の交通安全県民運動実施要綱

運動期間：令和2年4月6日（月）～4月15日（水）

交通事故死ゼロを目指す日：令和2年4月10日（金）

運動の目的	この運動は、県民一人ひとりが、交通ルールを守り、正しい交通マナーを実践することにより、交通事故を防止することを目的とする。			
運動の進め方	実施機関・団体は、相互の連携を密にして、地域や組織の実情に即した実効性のある交通安全運動を展開するものとする。			
運動の重点及び実施事項				
重点	子供を始めとする歩行者の安全の確保	高齢運転者等の安全運転の励行	自転車の安全利用の推進	飲酒運転の撲滅
運転者・歩行者は	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通事故を誘発する「歩きスマホ」はやめましょう。 ○ 夕暮れ時・夜間に外出するときは、反射材用品や明るい服装を着用しましょう。 ○ 道路横断の方法や安全確認等正しい交通ルール・マナーを徹底しましょう。 ○ 他者に対する思いやりのある運転に努めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夕暮れ時は、早めにライトを点灯し、ハイビームを効果的に活用しましょう。 ○ 他者に対する思いやりのある運転に努めましょう。 ○ 高齢運転者は、身体機能の変化に応じて、体調や天候、道路状況等を考えた安全運転に努めましょう。 ○ 運転中に携帯電話を使用する等の「ながら運転」はやめましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自転車安全利用五則」を守りましょう。 ○ 歩道を通行する際は、歩行者優先です。安全な運転に努めましょう。 ○ 夕暮れ時は早めにライトを点灯し、反射材用品を着装しましょう。 ○ 自転車を運転中に携帯電話を使用する等の「ながら運転」はやめましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲酒運転は犯罪です。飲酒運転は「絶対しない、させない、許さない、そして、見逃さない。」ことを徹底しましょう。 ○ 車を運転するときは、アルコールが残っていないか確認しましょう。 ○ 飲酒運転を見かけたら、迷わず110番通報しましょう。
家庭・地域・職場では	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子供と高齢者に対する交通安全指導、保護啓発活動を推進しましょう。 ○ 交通上の危険な箇所や道路への飛び出し等の危険性、身近に起きた交通事故について話し合いましょう。 ○ 交通安全マップ等による交通危険箇所の把握に努めましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自家用車から公共交通機関等への移手段の変更等について話し合いましょう。 ○ 安全運転サポート車の導入を検討しましょう。 ○ シートベルトとチャイルドシートの着用の必要性について話し合いましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ながら運転」の危険性・迷惑性について話し合いましょう。 ○ 安全のために子供にはヘルメットを着用させましょう。 ○ 自転車保険に加入しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲酒運転による事故の悲惨さや責任の重さについて話し合いましょう。 ○ 車を運転することを知りながら酒を勧めること、酒を飲んで運転するおそれのある人に車を貸すこと、飲酒運転の車に同乗することは犯罪です。お互いに注意しましょう。
実施機関・団体では	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横断歩道マナーアップ運動を積極的に推進しましょう。 ○ 参加・体験型の交通安全講習会を積極的に開催しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全運転サポート車などの普及を促進しましょう。 ○ 安全運転支援窓口の周知を図りましょう。 ○ 横断歩道マナーアップ運動を積極的に推進しましょう。 ○ 参加・体験型の交通安全講習会を積極的に開催しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡県自転車条例の周知に努めましょう。 ○ 反射材用品の装着やライト点灯を促進する広報啓発活動を推進しましょう。 ○ 参加・体験型の交通安全講習会を積極的に開催しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福岡県飲酒運転撲滅条例の周知に努めましょう。 ○ 企業・店は飲酒運転撲滅宣言企業（店）に登録し、「ハンドルキーパー運動」を積極的に推進しましょう。

自転車安全利用五則 ① 自転車は車道が原則、歩道は例外 ② 車道は左側を通行
 ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行 ④ 安全ルールを守る ⑤ 子どもはヘルメットを着用